

豊田民報

日本共産党豊田市委員会
◆豊田市日之出町一六六
Tel: 三四・四七二
毎週一回発行

公約実現・改憲ストップ全力 暮らし・平和に憲法を生かす政治を

7月10日、投開票された参議院選挙で、日本共産党は愛知選挙区でのすやま初美候補の議席獲得に至りませんでした。比例代表選挙では田村智子党副委員長、仁比聡平、岩淵友の各氏の議席を獲得することができました。

選挙区では、唯一の現職区だった東京選挙区で、山添拓候補の再選を勝ちとることができました。日本共産党へのご支持・ご支援に心より感謝いたします。

比例代表では、全国で36万8342票の獲得で、3



声援に応える小池晃書記局長、岩淵、田村、山添、仁比氏

議席の獲得にとどまり、目標を達成できなかったことは非常に残念です。教訓を引き出して、捲土（けんど）重来で頑張っていきたいと思います。

民主主義を脅かすような動きが続くなか、党をつくって100年、自由と平和を貫いてきた共産党が頑張る時です。力を合わせ

せてこの国の政治を変えていきましょう。

選挙戦での日本共産党の政策的な訴えは、国民の願いに立脚したものであり、自民・公明・維新など平和と暮らしを壊す「翼賛勢力」を追い詰め、訴えが伝わったところでは共感が広がりました。

平和をめぐるのは、「軍事費2倍」、「敵基地攻撃能力」の保有、「核抑止力」強化、「9条を変えろ」などの大合唱に正面から立ち向かい、憲法9条を生かして東アジアに平和をつくる「外交ビジョン」を対案として訴えてたたたきました。

暮らしの問題では、物価高騰からどうやって暮らしを守るかが大きな争点になるもので、新自由主義を転換し「やさしく強い経済」をつくる5つの提案を掲げ、消費税5%への減税・インボイスの中止、大企業の内部留保への時限的な課税による賃上げの促進、年金削減中止・学費半額・給食費ゼロ、気候危機打開、ジェンダー平等などの一連の政策に対して、期待が広がりました。



パレードで訴えるもとむら伸子衆院議員と後援会のみなさん（7/9）

わが党が訴えた政策は、どれも国民の切実な願いであり、国政の熱い焦点となるものばかりです。公約実現のために、全力をあげてまいります。

とりわけ9条改憲を許さないたたかいは、待ったなしの重大課題となっています。岸田首相は選挙後、「できるだけ早く（改憲）発議をしたい」と公言しました。党創立100年、平和を守り抜く党

の真価を発揮すべきときです。このたたかいは、国民世論にかかっています。海外での武力行使への一切の制約を取り払う9条改憲を許すの一点で、国民的な大運動をおこし、9条改憲に反対する国民的多数派をつくる新たなたたかいに挑んでまいります。



本多のぶひろ衆院選愛知11区予定候補
根本みはる衆院議員

◆第2土曜日 午前10時～12時
◆法律相談は弁護士
◆生活相談は弁護士
◆要予約
お申し込みは根本議員か
日本共産党西三地区委員会まで
Tel: 〇五六四―三三―二七八五



もとむら伸子
衆議院議員

無料 法律・生活相談
おこなっています

被爆
77年

核兵器廃絶へ 世界はすすむ



核兵器禁止条約 第1回締約国会議

共産党は代表派遣

核兵器禁止条約の第1回締約国会議が6月、オーストリアの首都ウィーンで開かれました(写真上)。ロシアによる「核の威嚇」が世界をおびやかしているもとで、会議の「ウィーン宣言」は、「核抑止論」をきびしく批判。「核兵器のない世界」にむけて希望ある力強いメッセージを発するものとなりました。

日本政府は会議に背を向けましたが、日本共産党は代表団を派遣、各国の外交官や市民社会の代表団と幅広く意見交換し、会議の成功に力をつくしました。



8月の核不拡散条約(NPT)再検討会議の議長を務めるマレーシア国連大使のサイド氏と懇談する、原水爆禁止日本協議会、日本原水爆被害者団体協議会の代表と日本共産党の笠井亮特使議員-6月21日、ウィーン



核兵器禁止条約第1回締約国会議のクメント議長に要請文を手わたす笠井議員-6月19日、ウィーン

赤旗写真ニュース | 2022年7月3週 | 1580号

毎月2回発行(7月は3週と5週) 1部25円
発行所 ● 日本共産党中央委員会 東京市谷区千駄ヶ谷4-25-7 電話 03(3403)6111

しんぶん赤旗をご購読ください

日刊●月3,497円 日曜版●月930円

電子版(日刊)

もあります



日本共産党